

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和5年12月15日

事業所名: 発達支援センター巢立ち  
(児童発達支援)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100	0	0		93	7	0	0	0	個別の部屋にあるホワイトボード、机の隙間に入り込もうとしたり気になっている。	感染症予防で密を避けるため、利用人数に制限を設けている。現在、1回の定員6名であるが、保護者が複数ある場合や関係機関の職員が入る場合もあり、手狭になることもある。子どもの動きについては、担当職員でしっかり目配りしていく。
	2 職員の適切な配置	100	0	0	利用者の増加のため児発管の複数配置があればよい。	94	3	3	0	0	子どもの手を取り指導して欲しい。	職員が不足する場合は、代替え職員で対応してきたが、都合がつかない場合もあり、対策が必要である。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	60	40	0		97	3	0	0	0		安全面に配慮し、特性に応じた設備になるよう工夫している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	80	20	0		97	3	0	0	0		毎朝の清掃やアルコール消毒をしっかりと行うことで、清潔な環境づくりに努めている。現在、利用者や保護者の検温は実施していない。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	80	20	0		/	/	/	/	/		毎朝のミーティングで、今日の療育内容や留意点を確認し、その日のうちに振り返りを行うことで、次の療育に生かせるようにしている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	40	20	40	個別療育を見ている保護者の暑さ対策。	/	/	/	/	/		現在、第三者による外部評価は実施できていない。検討課題と捉えている。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100	0	0	毎月1回定期的な研修を実施している(オンライン活用)。	/	/	/	/	/		毎月1回、オンラインを利用した職員研修を実施している。また、2か月に1回、愛大の先生による療育相談の際、研修を実施してきた。

区分	チェック項目	事業所の現状評価					保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供	1	100	0	0	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0	0	0		面談時間を確保し、保護者からの聞き取りを参考に支援計画を作成してきた。
	2	100	0	0	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100	0	0	0	0		保護者との面談を通して、具体的な内容の記載に努め、話し合いを通して共通理解を図る。
	3	100	0	0	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	/	/	/	/	/		保護者に個別療育、集団療育の必要性を伝え、個に応じた指導になるよう努める。
適切な支援の提供（続き）	4	100	0	0	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	97	3	0	0	0	南愛媛では出来るのに巣立ちだと出来ない課題がある。促し方？2人1組だから？。	個別支援計画や評価、モニタリングの内容を職員全体で共有し、保護者との共通理解のもと、個々に応じた適切な手立てを考えながら指導に当たる。
	5	100	0	0	チーム全体での活動プログラムの立案	/	/	/	/	/		朝のミーティングで改善点を出し合い、共通理解を図りながら立案している。
	6	100	0	0	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	93	7	0	0	0		子どもの成長や実態に応じて、季節感等にも考慮しながら、柔軟にプログラムを組み立てるようにしている。
	7	60	40	0	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	/	/	/	/	/		巣立ちの療育は、平日のみの実施となっている。
	8	100	0	0	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	/	/	/	/	/		朝のミーティングで支援内容や役割分担、配慮事項を確認し、療育活動に臨んでいる。
	9	100	0	0	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	/	/	/	/	/		療育活動終了後、その日の振り返りを行い、改善案等を話し合うことで情報の共有化を図っている。
	10	100	0	0	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	/	/	/	/	/		活動の様子を詳細に記録し、保護者の確認を得て、次回につなげるようにしている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価					保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	保護者の方のご意見	
関係機関との連携	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100	0	0								定期的に個別支援計画に基づいたモニタリングを実施することで、保護者のニーズを把握し、現在の個々についての計画の見直しに努めている。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	100	0	0								できる範囲で積極的に参加する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	100	0	0	保育が使えるような体制を整えていくことは今課題だと思う。							今後も必要に応じて、相談支援事業所の相談支援専門員や保健師と共通理解を図っていく。
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	100	0	0	保護者から聞きながら対応している。							保護者から直接聞き取ることが主となっているが、必要に応じて医療機関等とも連絡を取るようになってきた。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	80	20	0	必要に応じて行っている。							保育所、幼稚園等とは、必要に応じて随時情報交換を行っており、担当職員が見学に来所する場合も多い。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100	0	0								そのような事例が発生した場合、できる範囲で情報提供に努める。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	80	20	0								リモートやYouTubeを活用し、日ごろあまり聞けない専門的な研修も受講できるようになった。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	20	0	80		40	7	7	46	0		機会があれば、積極的に参加したい。今後の検討課題である。
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	20	0	80								現在のところ予定はない。今後の検討課題である。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価					保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100	0	0		97	0	0	0	3		利用開始前の話し合いで丁寧な説明に心掛けてきた。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100	0	0		100	0	0	0	0		利用開始前の話し合いや個別支援計画説明時、モニタリングの際に、共通理解を図りながら丁寧な説明をするように心掛けてきた。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	80	20	0		63	10	7	20	0		保護者からの相談には積極的に対応してきたが、ペアトレは実施できておらず、今後の検討課題である。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100	0	0		97	3	0	0	0		個別支援計画作成時やモニタリング、また、日常の会話の中で、積極的に共通理解を図る。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100	0	0		94	3	0	3	0		時間をしっかり確保し、親身な対応を心掛ける。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	20	40	40	数年前に父母の会は保護者の方々の考えで解散した。その為、巣立ち主催での保護者同士の連携の必要性は感じている。	23	7	10	60	0	私が仕事の関係で巣立ち南愛媛に行く以外の時間を作れていない。保護者間のやりとりや会などとても重要だと思います。	保護者会はないが、保護者同士の連携が必要な場合、できる限りの支援に努める。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100	0	0		53	10	0	37	0	市役所に行っても人員が・・・とにごされて解決されない。	保護者からの苦情や要望に対しては、迅速に誠意ある態度で対応するように心掛けている。
8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100	0	0		100	0	0	0	0		個々の特性に応じた方法で伝えるように努める。研修等を通じて職員の資質向上を目指す。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価					保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	保護者の方のご意見	
	9	80	0	20	毎月行事予定を発行している。	37	3	7	53	0		毎月、その月の行事予定を発行してきた。その他、外部からの情報は、廊下に掲示している。
	10	100	0	0		90	0	0	10	0		個人情報の取り扱いには留意してきたが、職員間でのチェックをさらに強化していく。
非常時等の対応	1	100	0	0		47	7	0	46	0		昨年同様、保護者へのマニュアルの周知には至っていない。周知方法について検討する。
	2	100	0	0	保健センター全体の避難訓練や県の訓練に積極的に参加している。	47	3	3	47	0	避難訓練に昨年？参加した。	保健センター内の避難訓練や、県主催の原子力防災訓練に参加した。地震に備えての避難訓練も実施していく。
非常時等の対応（続き）	3	100	0	0	年1回以上職員研修を実施している。							虐待防止のための委員会を設置し、職員研修を実施した。職員間で共通意識のもと、指導に当たるようにする。
	4	100	0	0								身体拘束適正化のための委員会を設置し、職員研修を実施することで防止に努めた。
	5	100	0	0	アレルギーは把握しているが食事をするのはこちらではしていない。							個別支援計画作成時やモニタリングの中で確認している。現在、本施設で食事提供する場面はない。
	6	100	0	0								ヒヤリハットに記録を累積し、共通理解のもと、対応を話し合うように努める。